

平成 30 年度 非核都市宣言平和事業実行委員会  
第 5 回議事録（要旨）

日 時：9 月 11 日（火）午後 6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 9 名（山口委員、鬼原委員、牛田委員、中里委員、柴田委員、  
田村委員、中島委員、北山委員、小餅委員）

事務局 3 名

1 開会

2 議題

（1）夏季平和事業を振り返って【資料 1、資料 2】

・事務局より、アンケートの結果を報告。

【事務局】「恵まれすぎて感謝を忘れてしまいがちなので、こういうアニメなりマンガでも子どもたちに伝えていきたいです」「私も戦時中の疎開の経験があるので、身につまされる内容でした」「戦争の悲惨さを強調しすぎず、『日常の一部』として淡々と描いているところが余計に悲しさを感じさせる。とてもいい映画でした」といった感想が寄せられた。当時の様子の証言についても、「これからも話し続けてください」「生の声を聞く機会は大事にしたいです」といった声が寄せられた。

【委 員】戦後の雰囲気を出しながら観たが、いい映画だと思った。

【委 員】アンケートにあるように、人の生活の中に戦争がどのようにあったかを知れた。大変良かった。

【委 員】実際に戦争を経験したことはないが、社会的なものの考え方や価値観が現在と違う当時の人々が知れた。今は戦争がいけないとみんながわかっているが、また社会が変わってしまったらと危機感を感じた。こんなに平和について言われていても、どこかで戦争は起こっている。日本はもう戦争をしないと思っているが、時代の流れに巻き込まれて戦争を起こさないように、活動しなければならないと感じた。

【委 員】「どうして戦争が始まったのか」ではなく、戦時中の日常を子どもにもわかりやすく描いていると思った。若いお母さんや子ども連れが去年よりも多くいらっしやっている印象を受けた。描写をソフトにしている部分もあり、その分子どもたちにも見やすくなったかもしれない。

【委 員】当日は司会だったが、戦争体験者の方のもっと伝えたいという気持ちと、時間の兼ね合いが難しい。映画とは別でやってほしいという意見がアンケートにあるが、当時の様子の証言だけを聞きにきてもらうのも難しいと思う。映画は映画で長いので、映画だけで終わった方がいいかもしれない。

【委 員】記憶に残すことは大事だと感じた。今後も観る機会を得たい。いい映画だった。

【副委員長】アンケートの「今後参加したいイベントとしては、どのようなものがありますか」という項目に対して、公開の研修会や若い人向けのイベントという意

見があり、皆さんそういうことを望んでいると感じた。「夏休みなのに子ども参加が少ない」という感想があった。もっとわかりやすく広報するというのは毎年の課題。

【事務局】市報、Facebook、むさしのシティニュース等を活用しているが、今後も地道に広報していく。

【副委員長】市役所に行ったとき、展示を見に来ていた人が多かった。

【事務局】展示のために市役所に来ていただく方より、何かの用事のついでに見ていただいた人の方が多いと思う。記録する会の方に自ら質問している若い方もいた。

【委員】学校の課題で研究に来たという学生さんもいたらしい。

【委員】市報を見て来たと言う人が多かった。

【委員】市ホームページで公開されている市報のPDFファイルの容量が大きいため、スマートフォンで見ると最後のページが表示されないことがある。ページごとにPDFファイルを公開すれば、見やすくなるのではないかと。

【事務局】広報担当に伝える。

【委員】季刊むさしのに島津さんのインタビューが載っており、興味を持って訪ねた人もいたらしい。

## (2) 子ども食堂との共催について【資料3】

・事務局より、みかづき子ども食堂との共催事業について説明。

【委員長】戦後の食糧難が特にひどかった時期の回覧板に「餓死救済同盟」と書いてある資料があるので、そういうのを見てほしい。戦時中や戦後の苦労を伝えられたらいいと思う。子どもは延命寺の中でけがをしないように注意を払いたい。保険も入るべき。

【事務局】保険には加入する。延命寺から薪や炭をご提供いただくことは可能か。

【委員長】かまども薪もあるので大丈夫。

【事務局】千川青少協にお手伝いをお願いしている。別の行事と重なっているが、何人かご参加いただけるとのこと。

【委員】かまどの扱いは大変なので、千川地区で活躍しているおやじーずにも声をかけてみてはどうか。

【委員長】「みんなでごはん」という子ども食堂も、類似のイベントを行うらしい。

【事務局】確認する。

【委員】PTAの保護者たちにお声かけするのはいかがか。

【委員】人数が必要で、協力をお願いするのであれば、どのようなセッティングをするか等の詳細を決めてから声をかけた方がよいのではないかと。

【事務局】すいとん作りについては、みかづき食堂がやってくさるとのこと。

【委員】ちらしの作成等の広報はどうするのか。

【事務局】市報に掲載する。ちらしは作成・配布し、みかづき子ども食堂にちらしの設置の協力をいただく予定。

【委員長】子どもが来ることが一番重要。しかし、子どもを集めるのはなかなか難しい。

【副委員長】内容については来月の委員会で具体的に決定する。また、お手伝いいただける方も来月確認する。

(3) 「平和の日」関連イベントについて【資料4】

・事務局より平和の日イベント実施案について説明。

【事務局】以前から議題になっていた、大型パネルについては、作成するかどうかを本日決定していただきたい。

【副委員長】大型パネルについて、意見がある方はいらっしゃるか。

【委員】アトレ吉祥寺の天井が低かったと記憶しているが、入るか。

【事務局】問題ないと思う。

【委員】以前話し合ったときは大きさの候補が2つあるとのことだったが、どちらにするのか。

【事務局】大きい方にしようと考えている。

【委員】商店街で蛇腹式のテントを購入したところ、設置がかなり大変だった。重さを把握しておきたい。

【事務局】重さは7～8キログラム程度。

【委員】展示できる大きさなのかが重要。

【事務局】今年度予定しているパネル展の場所なら、いずれも大丈夫。

【委員】大きいと目立つので良い。

【副委員長】パネルを作成することでよいか。

→賛同

【事務局】次回の委員会で、イベントとパネル展の役割分担をお願いしたい。

【委員】コミセンに夏季イベントのちらしやポスターが来ていたか確認できなかった。いつごろコミセンに到着するのか、早めに教えてほしい。

【委員】市報は11月1日号に掲載するのか。

【事務局】11月1日号に掲載する。アトレ吉祥寺にもポスターを貼っていただくが、アトレでは先行して10月から掲載される。講演会の申込みを掲載する関係で、市報掲載は後からになる。

【委員】ちらしはいつごろ配布するのか。

【事務局】11月1日号の市報に合わせてコミセンや市政センターに送付する。

【委員】もうちょっと早い方がいい。

【委員】11月3日に国際交流祭りをを行うので、ちらしを置いてもらえるか確認する。

(4) その他

・事務局より研修について説明。

【事務局】次回の委員会で候補地を提案するが、委員の皆様にも行きたいところを考えてきていただきたい。

【委員】何月に行うのか。

【事務局】日程も含めて次回ご提案いただく。

【委員】どこか行く研修だけでなく、市民を対象とした研修も必要だと思う。公会堂で行うような大規模なものではなく、小規模で深い内容のイベントをやるのもいいのではないか。

【委員】研修というのは対象を誰にするのか、市民にするのか委員にするのかも含めて考えたい。

【事務局】いつ、誰を招いて誰を対象とした研修にするのかも含めて検討する。屋内での学習会形式または外出する研修のどちらでも可能。

【委員】バスを使用することは可能か。

【事務局】実行委員会であれば、マイクロバスを使用することはできる。

【委員】市民に希望者があれば連れて行く事は可能か。

【事務局】実行委員の皆様でバスの定員が半分ほど埋まってしまうので、他の市民を含めて連れて行くのは難しい。

【委員】今すぐでなくていいので、市民と一緒に勉強できる機会があるといい。

【委員】今すぐでなくていいなら、夏季イベントや平和の日イベントの一環として実施できるかもしれない。

【委員】テーマとしては、非核条約のような現在の問題について考える会もほしい。大人数ではなく、少人数で議論するのも良いのではないか。また、戦争に軍人として行った人は非常に少なくなっている。戦争の実態がどうだったのか、ふたたび議論されている。戦争した人のうち、戦闘で亡くなった人より栄養失調が原因で亡くなった人の方が多いことがあまり知られていない。戦争の実態をテーマに議論することも良いと思う。

【委員】平和の日条例が制定された根拠に、平和施策懇談会の答申があった。答申したもののうち、まだ実現されていないものが市民参加のイベントである。研修に参加した市民にとって、学んだことは財産になるので重要であると思う。夏季イベントを発展させた内容で、新しくイベントを開催するのも良いかもしれない。イベントを運営するには人手が必要なので、その点は考えないといけない。

【委員】映画上映会のような大規模なものではなく、小規模なものであれば、運営に携わる委員の負担も大きくなるのではないか。委員のみで話し合うのも良いが、小規模なイベントで、様々な人の意見を聞くことも充実するのではないか。

【委員】実行委員会の内部の研修でも、外部の講師を招いて勉強をするのは良いのではないか。また、三鷹市ではフィールドワークを開催しており、人気がある。武蔵野市でもやってみてはどうか。

【副委員長】研修については、次回検討する。

・委員より平和憲法手帳について意見。

【委員】平和憲法手帳の増刷予定はあるか。

【事務局】まだ在庫はあるが、次回増刷するときには内容を改訂する。

【委員】日本国憲法には本来見出しがない。平和憲法手帳にはついてはいるが、見出しが内容とずれているように感じる。有斐閣や三省堂から出版されている六法全書が有名だが、それとも合わないもので、再検討が必要。たとえば、手帳には「主権在民」とあるが、「国民主権」としているところが多い。増刷時には、市民にもわかりやすく改訂してほしい。

・委員より、都立武蔵野中央公園の平和案内板の内容について説明。

- ・委員より、西久保保育園のイベントと西東京市のイベントについて説明。  
【委員】 関心ある方がいれば、ぜひお誘いあわせの上ご参加いただきたい。

・次回の委員会は、10月23日（火）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

### 3 閉会